

## 水戸市が発注する完全週休2日制モデル工事の実施要領

### (目的)

第1条 この要領は、建設業界における担い手確保のための取り組みの一環として、休暇の拡大を促進するに当たり、その効果や課題を把握するとともに、労働環境改善に対する意識向上を図るために実施する完全週休2日制モデル工事(以下「モデル工事」という。)の発注等をするため、必要な事項を定めるものである。

### (用語の定義)

第2条 完全週休2日制とは、工事着手日から工事完成日までの期間において、年末年始休暇及び夏季休暇を従前どおり確保した上で、全ての土曜日並びに日曜日を現場閉所日とすることをいう。

- 2 現場閉所日とは、予め定めた現場の休工日のことをいい、予定外の休工日は含めない。
- 3 現場とは、工事目的物を設置する現場のことをいい、工場製作としての現場は含めない。
- 4 休工日とは、通行規制に伴う交通誘導作業や現場の安全確認のための見回り等現場管理に必要な作業を除き、下請け企業等も含め終日一切の現場作業(現場事務所での事務作業を含む)を行わない日のことをいう。ただし、発注者の指示や緊急対応等による作業を行った場合は、予め定めた休工日であっても例外として休工日とみなす。
- 5 経費補正等基準とは、完全週休2日制での施工を設計図書に位置付けて施工する場合に適用する積算基準(各種経費の補正基準)のことをいう。

### (モデル工事の対象)

第3条 モデル工事は、次の各号のいずれかに該当する工事を対象外とした上で、発注者が選定する。

- (1) 予定価格が4,000万円未満の工事(週休2日制工事に随意契約する工事を除く。)
- (2) 現場作業を行う期間が1か月未満となることが想定される工事
- (3) 緊急対応のための工事
- (4) 工程や完成時期に制約のある工事
- (5) 経費補正等基準が定められていない工事
- (6) 事業等の性質上、完全週休2日制での施工に伴う工事費の増が認められない工事(災害復旧工事等)
- (7) その他、モデル工事に適さないと発注者が判断する工事

### (モデル工事の発注方式)

第4条 モデル工事は、次の各号のいずれかの方式により発注することとする。

- (1) 発注者指定型
  - ・発注に際しては、特記仕様書に発注者指定型である旨明示することとする。
  - ・発注時の予定価格算定に当たっては、別に定める経費補正等基準により経費補正

等を行うこととする。

(2)受注者希望型

- ・発注に際しては、特記仕様書に受注者希望型である旨明示することとする。
- ・完全週休2日制での施工については、契約後、受注者の希望に基づき発注者と受注者との協議により決定することとする。
- ・発注者と受注者との協議により完全週休2日制での施工が決定した場合は、別に定める経費補正等基準により、設計変更することとする。

(実施工程の作成)

第5条 発注者指定型のモデル工事受注者及び受注者希望型のモデル工事受注者のうち発注者と受注者との協議により完全週休2日制での施工が決定した受注者(以下「受注者」という。)は、工事着手までに、完全週休2日制で施工するための実施工程を立て、監督員と協議の上定めるものとする。

(工期の延長)

第6条 第5条に基づき実施工程を定めた結果、契約工期内に工事を完成できないことが判明した場合、受注者は、工事請負契約書約款第21条の規定による工期の延長を請求することができる。

(受注者の取組事項)

第7条 受注者は、完全週休2日制により工事を進めることとする。

- 2 受注者の都合により土曜日又は日曜日に工事等を行う場合、受注者は、事前に監督員と協議の上で振替現場閉所日を設定することとする。なお、振替現場閉所日は、同一週内において設けることを原則とするが、土曜日の振替現場閉所日は翌週内に設けることも可とする。
- 3 受注者は、完全週休2日制による施工について、下請け企業等の理解を得た上で実施することとし、別紙様式1により作成した完全週休2日制での施工に関する関係者確認書の写しを工事着手日までに監督員に提出することとする。
- 4 一般土木工事の受注者は、土木工事保安対策技術指針に基づき設置する標示板(工事中看板)及び工事説明看板に、完全週休2日制で施工することを標示することとする。
- 5 営繕工事の受注者は、工事現場の見やすい位置に、完全週休2日制で施工することを標示する掲示板(看板)を設置することとする。
- 6 受注者は、適宜、次の各号に掲げる書類等を監督員に掲示し、現場閉所の実績について確認を受けることとする(工事完成通知書の提出までに、全ての現場閉所実績について確認すること)。

(1)工事現場の労働者の勤務状況がわかる書類(月間・週間工程表、作業日報等)

(2)下請け企業等の労働者の場合は、当該工事における当該下請け企業の作業期間及び内容等がわかる書類(作業日報等)

- 7 受注者は、工事完成通知書の提出までに、現場閉所の実績報告(実施工程に休日の取

得状況を記入した書類等)を監督員に提出することとする。

(発注者の配慮)

第8条 発注者は、受注者が完全週休2日制による工事を円滑に実施できるよう、次の各号に配慮することとする。

(1)第5条で定める実施工程による工事実施を妨げるような指示等を行わないこと。

(2)第6条で定める受注者からの工期の延長変更の請求に対して柔軟に対応すること。

(3)受注者からの協議等にはできる限り速やかに対応すること。

(工事成績評定等)

第9条 モデル工事を通じ実施された休暇拡大に向けた受注者の取組について、工事成績評定において評価することとする。

2 発注者指定型のモデル工事受注者が、完全週休2日制による施工に非協力的な場合は、工事成績評定において「法令遵守等」で評価(減点)することとする。

(履行実績取組証の発行)

第10条 受注者が設計図書に基づき取組を実施し、現場閉所日確保率100%以上で工事を完成させた場合、発注者は、工事成績評定通知時に別紙様式2により受注者に対し履行実績取組証を発行するものとする。

2 現場閉所日確保率が100%未満となった場合、履行実績取組証は発行しないものとする。

付 則

この要領は、令和2年6月23日から施行し、令和2年7月1日以降に入札公告等をする工事から適用する。

付 則

この要領は、令和3年12月1日以降に入札公告等をする工事から適用する。

付 則

この要領は、令和5年4月1日以降に入札公告等をする工事から適用する。

付 則

この要領は、令和6年4月1日以降に入札公告等をする工事から適用する。

付 則

この要領は、令和6年9月1日以降に入札公告等をする工事から適用する。

付 則

この要領は、令和7年8月7日以降に入札公告等をする工事から適用する。